入隊・入校予定者の門出を祝う

自衛隊埼玉地方協力本部は、三月七日（土）大宮ソニックシティ大ホールにおいて埼玉地本の協力十団体が主催する入隊激励会及び埼玉音楽フェスティバルを支援した。

午前中はあいにくの雨模様であったが、自治体、学校関係者も多数参席され、入隊・入校予定者を含む約千五百名の来場者による熱気で午後からは雨も上がりおおいに盛り上った。

二部構成で行われ、第一部の入隊激励会は緊張の面持ちの入校・入隊予定者に対して、埼玉県副知事の塩川　修氏に引き続き、自衛隊を代表して陸上自衛隊朝霞駐屯地司令の岩谷要陸将補からお祝いの言葉を戴いた。その後、入隊・入校予定者全員の名前が呼ばれ起立すると、温かい激励の拍手が会場を包んだ。また、防衛大臣からのビデオレターと埼玉県出身の浦和レッドダイヤモンズ宇賀神選手からの激励メッセージも届き、入隊・入校予定者は気持ちを新たにしていた様子であった。

続いて陸・海・空自衛隊の先輩隊員三名がステージ上に登場し、「私たちの仲間となることを嬉しく思います。ともに頑張りましょう」と歓迎の言葉を述べた。

これらに対して、入隊・入隊予定者を代表して一般幹部候補生入隊予定者と一般曹候補生入隊予定者の二人がステージに登壇し、御礼の言葉を述べるとともに「常に物事に全力で取り組み、妥協しないことを心がけます」と力強く抱負を語り第一部は幕を閉じた。

第二部は、厳粛な雰囲気から一転し、華やかな埼玉音楽フェスティバルが行われた。航空自衛隊入間修武太鼓の迫力ある演奏から始まり、陸上自衛隊第三十二普通科連隊らっぱ隊による整斉としたらっぱ吹奏に引き続き、陸上自衛隊第一音楽隊による軽快な吹奏楽の演奏で幕を閉じた。第一音楽隊の演奏は、「祝典行進曲」で華やかに始まり、第三十二普通科連隊らっぱ隊とのコラボレーション演奏の際には会場から溢れんばかりの拍手が沸き起こり、入隊・入校予定者へのはなむけの演奏会となった。

本イベントの総合司会は、航空自衛隊入間基地所属の小山美晴空士長と予備自衛官の小黒由紀予備二等陸士の二名に快く引き受けて頂いた。その溌剌とした司会は、大変好評で入隊予定者の良い目標となったばかりでなく自衛官及び予備自衛官制度のPRにも寄与することとなった。

埼玉地本は、今後も協力団体と連携し、自衛隊への理解促進に尽力する所存である。

熊谷さくらマラソンで自衛隊をＰＲ

埼玉地方協力本部は熊谷地域事務所担当により、三月二十二日（日）、熊谷さくら運動公園で開催された「第二十五回熊谷さくらマラソン」において、募集ブースを開設し広報活動を実施した。

うららかな天気の下、八千人を超える市民ランナーが参加し、ゲストランナーの川内優輝さんや渋井陽子さんが大会を盛り上げた。イベント会場には市内の様々な物販ブースが数多く出展し、航空自衛隊熊谷基地もコーンスープを振舞い、完走後のランナーの乾いた喉を潤した。

埼玉地本のブースでは各種募集パンフレットと共に、ペーパークラフトや航空機のピンナップ写真が人気を博し、子供から大人まで興味を持った方達が後を絶たなかった。

埼玉地本は今後も地域において親しみやすい広報活動を実施し自衛隊への理解促進に尽力する所存である。